宮城舞台技術者協会 令和４年 第４回部会長事務局会議　議事録

日時	2022 年　11 月　11 日　14 時　00 分 ～　15 時　20 分	場所	株式会社東北共立様　ミーティングルーム
議題	●宮城県芸術銀河について ●第５回サロンの開催内容について ●第４回理事会の議題について		

出席者	岸浪行雄　　橋本徳郎　　田嶋克彦 伊藤幸夫（事務局）　　斎藤環江（事務局） 理事、事務局 ５名
決定事項	●第５回サロン（懇親会）の会場、時間、予算について テンザホテル 仙台ステーション　理事会15時～、サロン17時～19時　予算：1人5,000円、協会より60,000円助成 ●理事会の議題の決定 第３回理事会にて審議した、会則第１３条の候補者の選定を行う。 総会の日程を決める（宮城県芸術銀河も同時開催として提案）
議事内容	■宮城県芸術銀河の開催内容について（代表から説明と提案） ●第３回理事会時に決定した内容から大きく変更となりました。（宮城県から要請により） 当初は、学生や若者を対象としたバックステージツアー的なものを予定していましたが、県との実施予算等の観点から、 今年度（令和5年3月まで）の開催は、協会の会員向けの事業を行えないか、提案がございました。 予算提出の期日等が迫っていたため、講習会の実施に舵を変更することとなりました。 ●芸術銀河の取り組み内容の基本としまして、以下、４点があります。 ①専門的または実践的な技術や知識習得に要する取組　②人材育成や職場定着等に資する取組 ③人材確保や育成等に関する取組　④舞台技術者に係る認知度向上や普及啓発のための取組 ●県との打ち合わせから予算は、25万円程。経費の100%申請が可能である。 ●今回の実施内容の提案として、昨年9月に設立された、「一般社団法人日本舞台技術スタッフ団体連合会」の代表に講演を依頼し、 「舞台従事者のこれからの働き方」について考える機会を設けてはどうでしょうか。 ※「一般社団法人日本舞台技術スタッフ団体連合会」とは、文化芸術やライブエンタテイメントに関わる技術スタッフ業を営む事業者の経営環境を守り、約60万人とも言われている従事者の生活を維持するための効果的な政策と支援を「政府、議員、省庁、自治体」に求めて行く為、各技術スタッフ業種団体の垣根を超えて、連帯してロビイング活動を行う事業団体の連合組織。 （日本コンサート舞台監督連絡会、美術大道具連絡会、全国舞台テレビ照明事業協同組合(全照協)、日本舞台音響事業協同組合(jassc）、イベントサポート向上連絡会、一般社団法人日本特殊効果演出協会、TV・舞台・イベント電飾連絡会、イベント・コンサート電源イベント・コンサート電源施工会社連絡会、レーザーアートアンドサイエンス協会(LASA)　９団体の連合組織） 特別会員として、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会(ACPC)、NPO法人日本舞台技術安全協会(JASST) が名を連ねる。

議事内容	●会員向けのイベントと考えるが、会員外からも参加希望があれば、一緒に参加していただくことも考える。 ●開催時期について 会員の予定も含め、総会と同時開催できないか。 12月のサロン（懇親会）の参加人数も踏まえ、講演会後にスタッフ連合会様も一緒に懇親会を開催しても良いのではないか。 12月の理事会にて、以上のことを提案し、進めていくこととする。 ■第５回サロンの開催内容について ●参加人数について 11月10日締め切り参加者：１６名（予定） ●会場について テンザホテル 仙台ステーション　の予約が取れました。円卓形式：自由席 ●時間について 理事会　15時～ サロン　17時～19時（2時間） ●予算について ホテルとの話により、一人当たり8,000円程度で、開催できる。 現在出欠確認のできていない方も含め、多くても20名程度の出席と考える。一人当たり、5,000円の負担とし、 協会より、60,000円（3,000円×20名）の助成とするのはいかがか。→ 妥当であると考える。 ●会費の徴収方法 12月5日当日、会場にて支払い。領収書等準備。 ●懇親会内容について 橋本副代表理事に内容を一任する。 ■第４回理事会の議題について ●前回（第３回理事会）にて審議した、会則第１３条の候補者の選定を行う。 選定内容を総会に諮り、次期役員とする。 ●変更となった、芸術銀河の内容について改めて説明する。（上記内容） ●芸術銀河の開催日程について、スタッフ連合会様と予定確認。総会の開催日時の決定。 ■その他 ●所属部会確認書に基づき、会員の割り振りを見直す。 ●金属回収についても、回収後の内容を固めていく。